

新年度はじめにあたり

あらたな年度を迎えました。

2026年度も、いろんな出逢いを広げ深め、いろんな経験を積み重ねて、またあらたな自分発見へと向かいましょう。

どんな困難なときもほほえみを忘れない「あかるさ」を共にしながら。

フィギュア、りくりゅう「金」。

(日本経済新聞見出しに)

「諦めなくてよかった」

木原選手 終始涙

三浦選手 笑顔で堂々



一般社団法人 和歌山県卓球協会
会長 茂原 治

前日のショートプログラムの影響を感じさせず、ミスを二人で乗り越え、輝きを手に。

右手に笑顔、左手に涙。

共感と信頼に結ばれた右手と左手。

そう、笑顔も涙もひとつとなるもの。

感動でした。

人は、いい面や悪い面、そのほかいろんな面、いわば『複数性』を持つとハンナ・アーレント(哲学者)がいます。

いい面(正)と悪い面(邪)がひとつとなる『邪正一如』の存在が、人。

ミスも成功も、笑顔も涙も一如。

いまできることをやる、

いまできることをやり切ろう。

ふたりはわたしたちに、あらためて自信と励ましをプレゼントしてくれました。

忘れない、あなたがたの笑顔と涙、そして輝きを。